

切抜折紙の動物

五八

山形寛

切抜折紙の動物の作り方を御紹介します。

これは別に新しい方法ではなく、今ではだいたいぶ方々で行はれて居り、子供雑誌などにも時々散見しますし、キヤラメルのおまけなどにもついて居るやうですが、幼稚園手技の材料としても面白いものですから、お試しを願ひます。

これは相當困難な所もありますが、そこは先生が手傳つて上げて下さい。子供は相當面白がつてやります。そして皆でいろ／＼な動物を作つて動物園を作らせて下さい。

此處にあげたものは、四つだけですが、大體模式的なものをあげて置きましたから、あとは之に準じて作らせて下さい。どんな動物でも譯なく出來ます。

前おきはこれ位にして、作り方を説明します。

材料は圖に示した位の大きさのものならば、あまり厚くない羅紗紙が最もよろしい。もつとも鶴のやうな白いものは

薄手の畫用紙を使はなければなりません。大きさを圖の二倍位にするならば少し厚い紙の方がしつかり出來てよろしいです。なるべくならば二倍位の大きさに作らせたいたいです。

大體の方法は、圖を謄寫版刷りにして與へ、それから作らせるのです。かう云ふ下圖の形と、出來上りの形とが違ふものは、子供に下圖をかゝせることは無理です。謄寫版の原紙を畫くには、この挿圖を直接寫して下さればよいのです。もつともこれより大きく作らせるには、別に下圖を畫いていただかなければなりません。次に一つ一つの作り方をお話しませう。

一、鶴

1、圖のやうな下圖を謄寫版にして、外廓線に沿つて鋏で切ります。

2、脚の所は、中の線の所から裏側に折つて糊をつけて

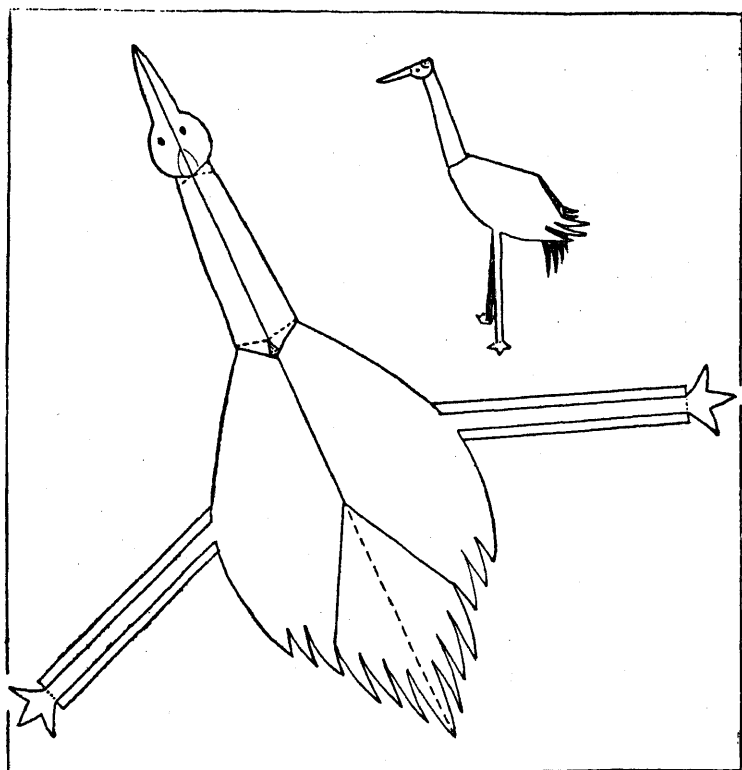
三枚を貼り重ねます。

これは中央部だけの幅に初めから切つてしまつてもよいのですが、

それでは出来上つた時にうまく立ちません。

4、次に中央の線から二つに折ります。

4、次に斜に書いてある實線及び破線の所から折つて折目をつけます。小さな部分の折目は箔のやうなもので筋をつけて折るとよろしい。折目は裏表に何度か折り返して、充分にくせをつけて置くのです。



5、頸のつけ根の所に小さい點々を打つた所は、切りとるのです。

6、以上が出来たならば、右上にある出来上り、圖のやうに折るのです。圖に實線で示した折目は表に出る折目で、破線で示した折目は、内側に折込まれる折目です。

7、嘴、丹頂の赤、眼羽等をクレオンで書きます。

8、小さな畫用紙の臺紙の上に、脚の先に糊をつけて貼りつけます。臺紙に貼りつけな

いと立ちません。

9、尙ほ折目が開いて来て、形がくづれるようならば、

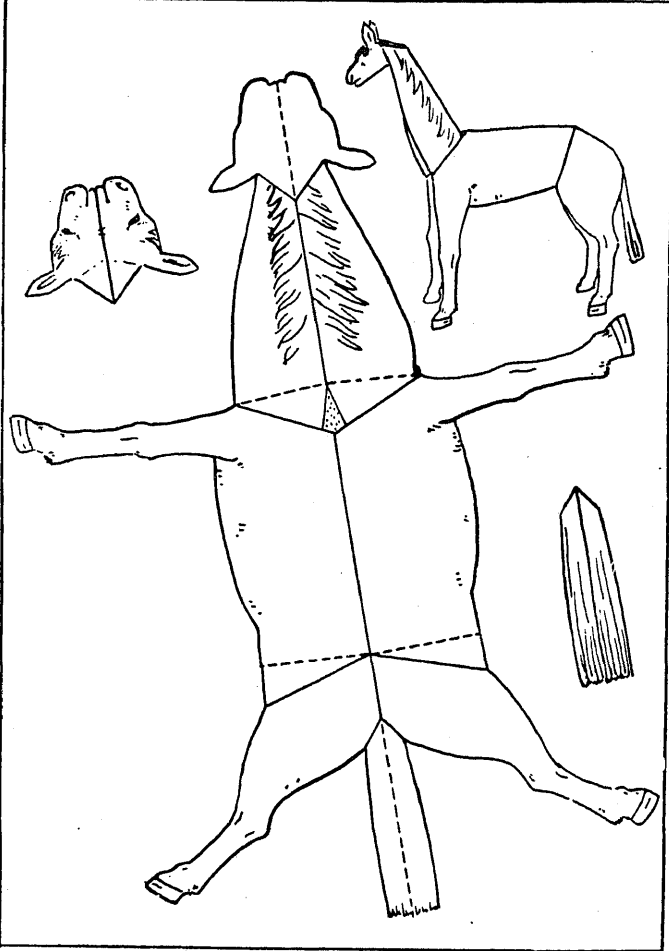
もだめになりますから、圖にはたてがみなども書いてあり
ますけれども、子供等にやらせる場合には、外側の線と折
目の線だけを

所々糊をつけ
て止めるがよ
ろしい。

二、馬

大體は鶴の
やり方と同じ
ですから、異
つて居る所だ
け申します。

これは頭と尾
とは、出来上
つた時に裏が
出るのです。
ですから初め
に顔や尾は印
刷して置いて



印刷して與
へ、あとでそ
こらは子供に
畫かせて下
さい。

馬は黄色の
羅紗紙に印刷
してやるとよ
ろしい。

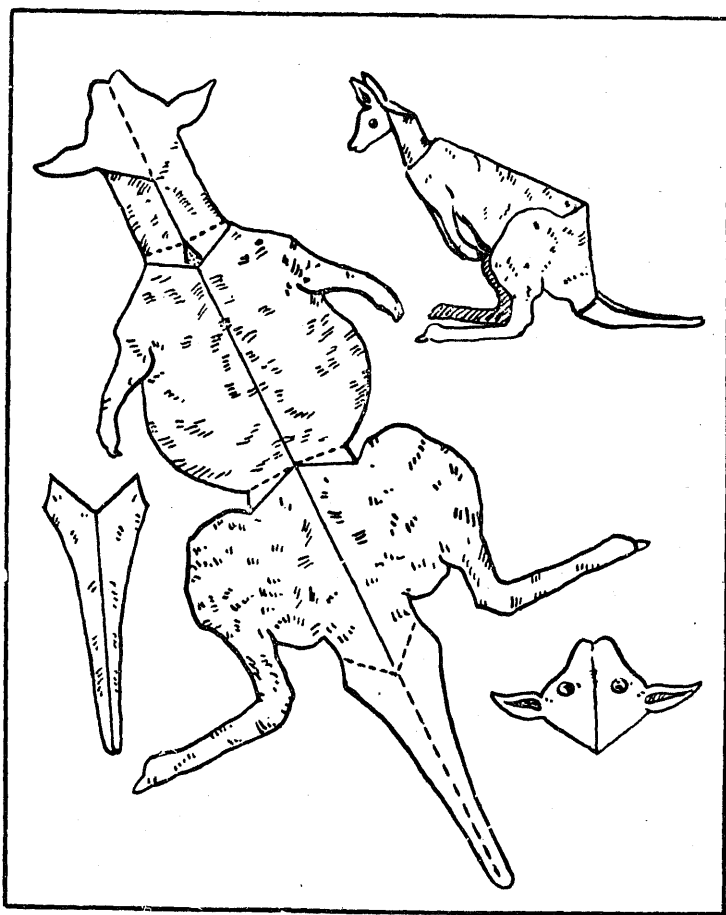
三、カンガ
ール

これは馬の
やり方と殆ど
同じです。只

後脚が胴の所で重なつて行く工合が少しちがひます。そして後脚と尾とで立つやうにするので、すから、兩者の工合を右上に畫いてある仕上り圖のやうにして下さい。

四 熊

これは全部紙の表の方ばかりが出るやり方です。そ



して顔に一つ疊み込んだ所をつける方法や、耳をつける方法、頭の上部に一つ疊み込みをつける方法などが前のものと違つて居る所で、あとは大した違ひはありません。圖を見ながら、紙だけで作つて下さい。

紙だけで作る動物のやり

方としては、
これ等は相當
手のこんだ面
白い方法で
す。かう云ふ
ものは、あま
り一つの方法
ばかりをやら
せるよりも、
いろ／＼な方
法を混ぜてや
らせる方がよ
いのです。

